

【研究課題】

地域がん診療連携拠点病院において質を担保した低侵襲手術を維持するために

【研究対象】

2025年1月から2025年12月までに当院で全身麻酔を受けられた方

【研究目的・方法】

我が国では厚生労働省の診療科別医師統計において、消化器・一般外科医数が長期的に減少しており、さらに日本消化器外科学会会員数の減少および高齢化が進行しています。特に地方医療圏では外科医不足が顕著であり、がん診療や救急医療を含めた外科診療体制の維持が困難となってきています。

当院は地域がん診療連携拠点病院として、患者アウトカムを重視した低侵襲手術（腹腔鏡手術）を積極的に実施していますが、外科医は減少しており、限られた人的資源の中で質を担保した診療体制の構築が喫緊の課題となっています。このような状況下で、2025年4月より腹腔鏡基本手技を習得した臨床工学技士（CE）をスコープオペレーター（腹腔鏡用のカメラを操作する人員）として活用し、外科医2名体制での腹腔鏡手術を実施しています。このような状況下で、手術時間の短縮や人員配置などの外科医の働き方改革にどのように貢献しているかを調べることを目的としています。

※臨床工学技士（CE）が担当する業務は、腹腔鏡手術中におけるスコープの保持および視野調整に限定されており、切開、剥離、縫合、止血等の外科的操作や医学的判断を伴う行為は一切行わなっておりません。スコープオペレーションは、術者の指示のもとで行われる補助的行為であり、診療補助として位置づけられるものであります。

【研究期間】

2027年3月31日まで

【研究に用いる試料・情報の種類】

電子カルテのから情報を得ます。性別、年齢、入院日、手術日、退院日、既往歴、血液検査結果、腫瘍学的な情報、手術術式、術後合併症の発生状況、再発日など

（※匿名化された情報であり、個人が同定されるようなIDや氏名、生年月日、連絡先などは含まれません。）

【お問い合わせに関して】

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護の支障がない範囲で、研究計画書および研究関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承を頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんの不利益が生じることはございません。

【連絡先】

研究責任者 奥村公一

〒526-8580 滋賀県長浜市大戌亥町 313 番地

市立長浜病院 外科

TEL 0749-68-2300 FAX 0749-65-1259